

## 第 137 回交流フロア運営会議（議事概要）

### 1 日時・場所

日時：2023 年 9 月 6 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

### 2 参加者数 20 名

### 3 会議内容

#### <新規提案>

#### （1）ことば蔵で風流を

##### 【概要】

- ・ことば蔵で尺八と箏の邦楽演奏、講演と朗読を楽しむイベント。今回で 22 回目となる。
- ・内容は前回の第 21 回目とほとんど同じ。曲目を一部変更し、新たに童謡を追加している。

#### （2）第 9 回吃音講座

##### 【概要】

- ・ことばと聞こえの専門家「言語聴覚士」の仕事内容や、吃音についての講演を国際障害者週間がある 12 月に合わせて開催したかったが、先生方の予定が合わなかったため、今回は 1 月に開催する。
- ・吃音の体験談発表や、グループでのディスカッション、少人数の相談会も予定している。
- ・イベントスタッフや講師として言友会の会員が協力してくれる。
- ・これまでの開催は、吃音の当事者や吃音のこどもを持つ親の交流の場となっていた。
- ・最近マンネリ化してきているので何かアイデアを貰えると嬉しい。

##### 【意見】

- ・前回の開催時のようにオンラインの参加は認めるのか。  
→むしろオンラインの参加にも対応していただければありがたい。
- ・マンネリ化しているとのことだが、具体的にはどういったところを指すのか。  
→ディスカッションのテーマや、グループワーク。
- ・これまでの参加者の意見や感想を反映した企画にするのはどうか。
- ・相談会の定員は前回と同じくらいにするのか。  
→前回と同じく 5 組にしようと考えている。また、個別で相談したい人もいるため、むやみに定員を増やすのはよくないかもしれない。
- ・言語聴覚士を目指している学生を参加者として呼ぶのはどうか。

→当日お呼びする言語聴覚士の先生は、実際に大学でも教えておられる人。学生を呼んでもらえるか先生に相談してみる。

・吃音限定のイベントでなくてもいいのではないかな。

→言友会の協力を得て開催するイベントなので、吃音を中心とさせていただいている。

### (3) 放課後の居場所 クリスマスイベント

#### 【概要】

・放課後の時間に合わせて、ことば蔵でクリスマスイベントを開催。

・対象は小学校低学年にする予定。開催時間も低学年の下校時刻にふらっとことば蔵に立ち寄って参加できる15時頃にしたい。

・内容は前回(2018年開催)のものと同様の予定。前半にクリスマスカードやミニチュメントづくり、後半は「パプリカ」さんにオカリナ演奏をしていただく。

・スタッフの人数により、前半のものづくりは実施できるか怪しい。もし難しければ、クリスマス関連の絵本の読み聞かせ等に変更する。

#### 【意見】

・クリスマスカードは何かひな形をもとに製作していくのか。

→画用紙を用意しておいて、各々の子どもたちが好きなように切って貼って制作する。テーブルにはスタッフがついて、子どもたちのサポートに入る。

・例年、ことば蔵ではクリスマスシーズンにツリーを設置しているので活用してはどうか。

→開催時期によってはまだ設置されていないかもしれない。

・小学校低学年でなくても参加できるのか。

→幼稚園児や高学年のお子さんでもウェルカム。親子で来られた方や兄弟で来られた方も、過去にたくさんいた。

・事前申し込み制にするか。

→放課後にふらっと寄って参加してほしいので、事前申し込みはなしで当日直接参加できるようにする。

### (4) 気になる本で話そう「いつ大災害が起きても家族で生き延びる」

#### 【概要】

・大災害に向けての備えについて、防災士の視点から描かれた小川光一さんの著作「いつ大災害が起きても家族で生き延びる」を題材としたイベント。本の内容を中心に参加者同士でフリートークを行い、色々な考え方・意見に触れてお互いが尊重し合い、自分らしく生きることを考える機会としたい。

・大災害が起きたときに、まずはどう行動するか、どうやって生き延びるかについて話し合いたい。また、被災時に必要とする物資等が人によって違うことに気付く機会にもしたい。

・家族で生き延びることがテーマの著書だが、イベントには家族がいない方にも参加いただきたい。家族でなくても近所づきあい等、様々な人のつながりがある。

### 【意見】

- ・今の時代にぴったりの素晴らしいテーマなのでぜひ実施してほしい。
- ・前回の「気になる本で話そう」では、伊丹市の危機管理室の職員が参加され、とても勉強になるお話を聞くことができた。今回のイベントにもぜひ参加いただきたい。  
→前回はこちらから参加をお願いしたわけではなく、たまたま来られて私たちも驚いた。参加の強制はできないが、今回も参加いただけるかお声がけしようと思う。
- ・防災士の知名度があまり高くないので、告知やイベントのはじめに防災士の説明があってもいいかもしれない。  
→著書の中でも防災士の紹介がある。こちらからもイベント時に防災士についての説明はしようと思う
- ・本をテーマに語り合うというイベントの趣旨からは外れてしまうかもしれないが、危機管理室にお願いして、伊丹市の防災に関する資料を貸してもらおうのほどどうか。  
→このイベントの企画団体のミーティングで相談してみようと思う。

### (5) パペットと英語で会話してみよう

#### 【概要】

- ・英会話のコミュニケーションを通して英語学習の楽しさを知ってもらいイベントを開催したい。
- ・4歳から高校2年生まで英会話教室に通っていた経験があり、学校教育の英語学習とは違ったコミュニケーションに焦点を当てた英語学習の必要性を感じ、本イベントを企画した。
- ・主にパペット人形が英語をしゃべり、参加者の子どもたちに話しかける。パペット人形の発言後すぐに企画者がその日本語訳を参加者に伝えて会話を進行させる。
- ・参加者はパペット人形と会話する体で自己紹介や好きなものの紹介をする。
- ・対象は英語を子どもに始めさせようと考えている親。定員は6組の予定。土曜日の午前中に開催できると嬉しい。

#### 【意見】

- ・対象年齢は小学生と幼稚園児どちらなのか。  
→英語に興味のある年齢であれば参加していただければと思う。
- ・幼稚園児が参加したいとなった場合、対象年齢の下限は設定するか。  
→「会話できる年齢」が下限になると思う。何かしら対象年齢の書き方を工夫して伝えられるようにしたい。
- ・会場のレイアウトはどのような配置にするか。  
→円形を想定していたが、具体的には決まっていない。
- ・英会話を人に教える経験は今までにあるのか。  
→大学時代に模擬授業として英語の授業を発表したりしたことはある。
- ・対象を「子どもに英語を始めさせたいと考えている親」から、「英語に興味を持ち始めた子ども」とした方がいいと思う。親ではなく子どもを対象とした表記にしてはどうか。

・英語の教育番組等の台本は非常によく考えて作られているため、ぜひお手本として活用してほしい。何かしらお手本を見たり聞いたりすることで、イベント内容も固まってくるのではないかな。

・「座学が苦手」等、マイナス発言は参加者に良くない印象を与える恐れがあるのであまり使わないほうがいいと思う。

・カンペ等文字情報をありのイベントにするのか、完全に会話による音声情報だけのイベントにするのか。

→対象年齢が低いので、音声情報のみの方が楽しめるのかもしれない。

・対象年齢が低いため、参加者の前提知識をかなり低く見積もって授業を組み立てる必要があり、難易度は高いと思う。

(6) 考え方のくせを知って、変えよう！

#### 【概要】

・自分の考え方のくせを知ることで、ポジティブな考え方ができるようになるためのイベント。

・ネット上に公開されていた、中学生を対象にした自己診断ツールを元に、参加者の考え方のくせを6つに分ける。

・各々の診断結果に基づいて、自分のエピソード等をグループで話し合う。発言は1人10分。

#### 【意見】

・引用元の資料はどのような経緯で知ったのか。

→就労移行支援事業所でのプログラムで似たような自己診断が使われていた。それをきっかけに、同じような教材がないかインターネットで調べて見つけた。

・引用元の資料はイベント等で自由に使用してもいいのかな。

→まだ調べられていないが、そのまま使用するのとは良くないと考えている。何かしら自己流のアレンジを加えたいうでイベントに使用したい。

・講座として開催する以上は、ある程度中身や進行を固めておく必要がある。質問をされても答えられるようにしておかないと、自分が困ることになる。

・小学生が参加しても違和感なく楽しめるのかな。

→この内容のままでは中学生でも厳しいと思う。

・引用元の資料は中学生対象のものであるが、しっかりしたファシリテーターがいないとしんどいかもしれない。

#### <イベント報告>

(1) 廃材で夏休みの宿題をつくらう！

参加者は58人。たくさん廃材を集めることができたおかげで、大々的に開催できた。中には勝手に好きなものを作り始める子もいたが、ほとんどの参加者が見本のガチャガチャを選んで作っていた。カッターナイフを初めて使う子が多かったため、スタッフだけでなく保護者も子どもたちのサポートをしていた。

(2) 車いすサポーターってなあに

参加者は8人。車椅子についての講座のほか、子ども世代に車椅子に座る体験をしてもらう想定だったが、お盆期間の開催にしてしまい人があまり集まらなかった。ことば蔵のスロープや段差を実際に車椅子で体験してもらい、好評だった。

(3) 親子で遊ぼう紙芝居 vol.4

参加者は7人。3組の参加だったが、どの親子も凄く積極的で素敵な作品を作られていた。サンプルで示した3つのテーマを、3組それぞれで選んでいただけてバランスも良かった。今回初めて紙芝居の枠づくりを保護者をお願いしたが、お母さま方も熱中されていてとても良かったと思う。

(4) 図書館で遊ぼう！夏休みこどもワークショップ

参加者は108人。たくさんの方が参加されてとても忙しかった。やっぱり子どもたちはものづくりが好きなんだなあと改めて感じた。準備がとても大変だったのでしばらくは休みたいが、また機会があれば開催したい。

(5) こども作戦会議 2023

参加者は7人。こどもたちのやりたいことをイベントとして実現する、こども作戦会議 2023。その企画・立案・プレゼンまでの前半戦が無事に終了した。今のところ「ことばざー」というバザー企画をする方向で話がまとまってきている。後半戦では実際にイベントを開催するにあたり必要なことを順々に子どもたちと詰めていく予定。

(6) 伊丹の民話を聞いてものづくり体験をしよう

参加者は50人。ラジオ体操で集まっていた子どもたちに、そのままの流れで参加してもらったため普段よりもたくさんの参加となった。紙芝居では「法嚴寺のクスノキ」「三軒寺の砂かけたぬき」を読み上げた。ものづくり体験ではするする登る「登り人形」を作成した。また冬休みにも同じようにイベントを開催したい。

(7) 漫画を語ろう！

参加者は7人。テーマは「部活漫画」。運動部の漫画も文化部の漫画も幅広く紹介された。また、10月以降のテーマについても話し合った。

次回は9月27日(水) 18時30分～ テーマ「老人キャラ」で開催。

4 次回の運営会議 **2023年10月4日(水) 18:30～** ことば蔵1階 交流フロア